

申2号「地区体制の見直し」に関する団体交渉！①

1項 地区センターを廃止し、新たに地区連携室を設置する目的を明らかにすること。

会社)一つは**管理者の年齢が高い**。地区センターは助役職が担っているが**運転取扱い業務や異常時の駆け付け体制を営業職に継承しなければいけない**。各地区で職場が少なくなっているが地区で開催しているマイプロ・マイメッセージの報告会や安推・サービス会議を無くし効率的にしていこう。しかし、**これまで地区センターが担ってきた系統を横断した機能も必要なため「地区連携室」を設置する**。

組合)今後どういった方に駅職場の中心として担ってもらおうか。

会社)これまで社会人採用の方が担っていたが、ジョブローテーションにより乗務員の道も拓かれた。新入社員は出改札等の基礎的なことを学び、**ジョブローテーションで駅を希望している方もいるためどういった仕事かしたいのかを踏まえて駅業務を担ってもらおう**。

組合)お客さまのより近くで創意を發揮できる環境とは。

会社)組織規程上では駅と地区センターは別組織である。**地区連携室の業務と出改札の混み運用とし、駅業務を全体で担うことで構築できる**。

2項 「地区内の系統を横断して取組む機能の維持」に向けた教育について具体的にすること。

組合)具体的にどのような業務になるのか。

会社)これまで地区で会議の場があったが、**他職場と連携する必要がある場合の調整役**である。地区連携室で課題解消に向けて動くというよりは調整の役割を担っていただく。

組合)地区の会議がなくなり他職場の意見がどのように集約されるのか。

会社)各現場の意見をまとめるのは地区長であり、会議の場を設ける必要がある場合の調整や運営を地区連携室で担うことになる。

組合)異常時走行訓練等の調整役も担うことになるのか。

会社)そうなる。変革2027にあるように現場の声を基にして新たに生まれる業務もある。業務にあたって管理者からアドバイスも行い、基本的に発想に対して止めるものではない。全てアドバイスして何も考えなくなってもいけない。

組合)職場が減ったと言っても中央地区はまだ多いのが現状。その中で一般職が違う系統との調整役を担うのは難しいのではないかと。どのように教育していくのか。

会社)まずは地区連携室で行う業務について説明する。調整の方法についてはこれまでとそれほど変わらない。**これまで地区センターで業務を担っていた方や管理者がアドバイスやフォローしながら進める**。

組合)教育期間の目安はあるのか。

会社)個人差もあるが、連携といった部分に関してはそれほど時間がかかるとは考えていない。現在地区センターにいる方の力を借りスムーズな移行に向けて進めていきたい。

組合)運輸区では地区センターが廃止になるというイメージだけが強い。地区内で課題を解決するために系統を横断して取組む機能が維持されていることは職場でフォローするべきである。

会社)組織はなくなるけれど社員の声の吸い上げ先は変わらないということを**管理者に周知して、社員の声を受け止めるように伝えていく**。

②に続く！